病院 だより 2017年11月号 第360号

検索





昭和大学病院附属東病院

発 行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院発行責任者 昭和大学病院長 板 橋 家頭夫編集責任者 広報 委員長 中村 清 吾〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8

TEL:03-3784-8000(代表)



形成外科学講座 主任教授のご挨拶 形成外科 門松 香ー

このたび、形成外科講座主任教授を拝命しました 門松です。昭和大学の形成外科学講座は1968年7 月に鬼塚拓彌名誉教授が整形外科講師として昭和大 学に赴任され形成外科診療を開始されてからすでに 49年たちました。来年には創立50周年を迎えるこ とになっております。昭和大学の形成外科は口唇口 蓋裂を中心とした診療が行われておりますが一般形 成外科でも日本の形成外科の牽引役でありました。 現在ではその手術件数は全国でもトップクラスを維 持しており口唇口蓋裂に関しては年間500例近く 行っており、2位の施設の約3~4倍の手術症例を 手がけております。

さて、私が8月1日付けにて昭和大学病院勤務となりましたが、それまで昭和大学江東豊洲病院で開院当初より一般救急・形成外科の一員として勤務させていただきました。豊洲での形成外科手術日が日曜日であったことは銀座や新橋・大手町を近隣に控える豊洲地区のニーズに良く合っており、多くの患者様の手術を手がけることができました。そこから急激な配置転換となったわけですが私自身の環境の変化もさることながら、もっと大きな変化が形成外科には待ち受けていることは誰も予想できませんでした。それは10月1日付けで形成外科講座の拠点を藤ヶ丘へ移行させるということでした。教授就任時に藤ヶ丘駅前再開発に伴い老朽化した藤ヶ丘病院の立て替え計画や昭和大学病院の急性期疾患充実のために再編計画があることも伺っておりました。約

2ヶ月間での移動には 医局員や同門会員への 十分な説明が必要であったとともに、患者様 への強力なご理解をいただく必要がありました。現在、医局員の移動は速やかに行うことができておりますが、



患者様にはできるだけ不便が無い様にまた医療安全 を確保しながら徐々に移行をお願いしているところ であります。

昭和大学の形成外科が発足して以来約50年大きな変換点となったわけですが、この移動に際してこれまで診療科内にあった口唇口蓋裂センターも昭和大学長直属のセンターとして生まれ変わり、「昭和大学口唇口蓋裂センター」という名称の下に昭和大学形成外科学教室50年の歴史に新たな一歩を記すことになりました。この新生昭和大学形成外科および昭和大学口唇口蓋裂センターを精一杯もり立てていくことを私は心に誓いながら成功へと導いていく所存であります。これまで昭和大学病院で形成外科にご協力いただいた先生方にこの場を借りて深く御礼を申し上げるとともに、今後もご指導ご鞭撻のほどお願いし、さらにご協力いただける様切にお願い申し上げます。

病院医療最前線!! Vol.15 「腎臓内科」

あらゆる腎臓疾患に対応します 特殊血液浄化療法も積極的に行っています

当科は腎臓疾患全般と血液浄化療法を要する疾患全般の診療を専門とし、当院は日本内科学会認定教育施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会認定施設、日本アフェレシス学会認定施設です。あらゆる腎臓疾患に多角的な視点で対応します。また、特殊な血液浄化療法も積極的に行っています。

診療体制

糸球体腎炎・ネフローゼなどの原発性腎疾患、糖尿病、高血圧、膠原病、ANCA 関連血管炎などによる続発性腎疾患、尿細管間質性疾患、遺伝性腎疾患、水・電解質代謝異常、急性腎不全、慢性腎臓病(CKD)~慢性腎不全などを対象に診療を行っています。進行した末期腎不全(ESKD)患者さんに対しては透析療法(血液透析や腹膜透析)の導入と維持管理、長期透析療法に伴う種々合併症の予防と治療、さらに、腎移植前・後の内科的管理も行っています。種々の原因による急性腎不全、重症感染症やその他原因による多臓器不全などに対しては、持続的血液濾過透析(CHDF)をはじめとする急性血液浄化療法を施行しています。また、種々の適応疾患に対し各種アフェレシス療法も行います。特殊外来としては、ESKDに至り腎代替療法を要する患者さんに病状に応じて適切な療法選択(血液透析、腹膜透析、腎移植)の相談と提案を行う腎不全外来、透析患者のバスキュラーアクセスを管理・治療するバスキュラーアクセス外来、腹膜透析患者を管理する腹膜透析外来などがあります。

特徴的な治療領域

· 持続的血液濾過透析(CHDF)

主にクリティカルケア領域において、様々な要因による急激な腎障害の進行、敗血症性ショック、心不全の増悪などをきたし、体液や溶質の管理が困難となった場合に行われる急性血液浄化療法のひとつです。 重症急性膵炎、劇症肝炎などでも行われます。臨床工学技士と協力し、時間外でも速やかに治療が開始できる体制をとっています。当院では 2016 年度に約 100 症例、のべ800回近くの治療実績を有しています。

・<u>アフェレシス療法</u>

血液を体外へ取り出し、病因となる物質を膜濾過による分離や吸着などの技術を用いて除去する治療法です。アフェレシスの適応疾患は多岐にわたります。2016年度の当院における治療実績として、自己免疫性疾患(膠原病、消化器、神経、血液、皮膚、眼疾患など)を初めとする各種疾患の患者さん約100症例に対し、血漿交換や各種吸着療法など、多様なアフェレシス療法を行っています。その他、肝硬変による難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注療法(CART)にも対応しています。

腎臓内科 診療科長:柴田 孝則(Shibata Takanori)

趣味:旅行

わが国の慢性透析患者数は約32万人(2015年末)にまで増加しており、 慢性腎臓病(CKD)対策が喫緊の課題となっています。CKD早期発見のため、持続する蛋白尿や腎機能障害を有する患者さんがおられましたら是非 当科へご紹介ください。地域医療機関の先生方との連携をさらに強化し診療 を行っていく所存です。



専門外来のご案内 「**脳血管内治療外来**」

「メス」ではなく「カテーテル」を用いた 体に負担の少ない脳血管治療

対象の患者さん

血管内手術により治療可能な、脳血管障害(脳動脈瘤、内頸動脈などの動脈狭窄、脳動静脈奇形、 硬膜動静脈瘻)、頭頚部腫瘍、血管腫など。

治療について

血管内治療では、手首・肘・太ももなどに針を刺して、動脈にカテーテルを 挿入します。その後は、動脈の中をたどって病変部に到達し、開頭手術ではな いため、体への負担が少ないというメリットがあります。入院期間は短く、 退院の翌日より仕事に復帰することも可能です。

しかし、カテーテルで行う治療は瘤の場所や大きさによって、完全閉塞ができない場合もあるため、外科治療と血管内治療のどちらが良いかを判断するためには、専門的な判断が必要になります。その際は、『脳血管内治療外来』でご相談ください。(セカンドオピニオンにも対応しています)



【脳動脈瘤に金属のコイルを 詰めて、瘤を詰める治療】 (脳動脈瘤コイル塞栓術)

予約の手続きについて

◆外来日:毎週金曜日:午前

◆紹介状が必要です。専用予約ダイヤル(O3-3784-8419)へお電話 いただき、「脳血管内治療外来」のご予約をお取りください。

◆担当医: 奥村 浩隆(脳神経外科/助教)



第32回昭和大学クリニカルセミナーを開催して

平成 29 年10 月 21 日(土) に近隣8 医師会の共催のもと、第 32 回昭和大学クリニカルセミナーを開催いたしました。今年度も多数の近隣医療機関の先生方にご参加いただき、大盛況で幕を閉じました。

講演会では下記 3 演題の講演を行い、懇親会では限られた時間ではありましたが、医療機関の先生方と 顔の見える連携を通じて、情報交換と親睦を深めることができました。今後も昭和大学病院·昭和大学病院附 属東病院では、地域の医療機関の先生方との連携を今まで以上に深め、医療連携を推進していきます。



『救命から社会復帰を目指した 集中治療医学へ』 麻酔科 准教授 小谷 透



『昭和大学病院 総合診療科 の成り立ちとこれから』 総合診療科 教授 齋藤 司



『腰曲がり・首下がり・そして痛みの不思議』整形外科 教授 豊根 知明

今月の熱血医療人

Vol.14「診療情報管理士」



~このコーナーでは専門資格を有している 熱血メディカルスタッフの方を紹介します~

Q. どういった専門資格でどういった仕事をしているのか。

診療情報管理士とは診療録(カルテ)や各種診療情報を保管・管理するとともに、それらを医療の現場で利活用できるよう従事している専門職種です。 国家資格ではありませんが四病院団体協議会および医療研修推進財団の共同で認定されております。現在、昭和大学病院では5名の診療情報管理士が診療録管理室に在籍しており、診療録(カルテ)の点検・監査、国際疾病分類に基づいた疾病情報の蓄積と活用、カルテ開示、DPC のコーディングや調査データの作成、クリニカルパスの管理等、診療録(カルテ)に関連した多岐に渡る業務に携わっています。



診療録管理室の皆さん

Q. 患者さんに対してのメッセージをお願いします。

私たちはチーム医療の一員として、日々医師・看護師等の医療スタッフと連携しながら上記のような業務に携わることで、患者さんたちの診療録(カルテ)を適切に管理し、情報活用できるよう勤しんでおります。また昭和大学病院の診療録(カルテ)は来年1月1日の電子カルテ稼働に向けて準備段階に入っております。私たち診療情報管理士は患者さんたちの診療録(カルテ)が電子化されることで医療現場が円滑に進み、より良い医療サービスが提供できるよう情報の整備に努めていきます。

病院ワークショップ開催報告

9月15日(金)、診療科長を対象に「昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院の将来ビジョンについて~ 土日週日化の実行に向けて~」をテーマとして病院ワークショップを実施しました。

昭和大学江東豊洲病院の取り組みや労務法規に係る講演を受講したのちに、今年度からスタートしたシフト 勤務や土曜週日化の課題や改善策を検討しました。最後に日曜日の週日化も視野に入れた構想を話しあいまし た。病院の将来に大きく関わる重要なテーマなだけに参加者全員から様々な意見が出され、病院一丸となって 取り組んでいく姿勢を肌で感じることができました。 文責: クオリティマネジメント課





【病院ワークショップ開催報告の様子】

文責:クオリティマネジメント課

救急業務功労者授賞式の報告

9月14日(木)昭和大学病院にて、救急業務功労者授賞式が行われました。この授賞式では例年、荏原消防署より昭和大学病院の医療従事者に感謝状が送られます。

今年度は、救命救急センターで勤務する医師と看護師計3名に感謝状が授与されました。授賞式には昭和大学病院長を始め、 看護部長、救命救急センター長等が出席し、授賞者たちを讃えておりました。

文責:管理課



手洗いキャンペーン開催報告

救命救急センター リンクナースと手洗い



神内 ICTDr も見ています



手洗い上手な村上副院長

手洗いキャンペーン ご協力ありがとうございます

「手洗いキャンペーン」を 10月 10日 から 16日に実施しました。食堂では、食事前に普段の手洗いを確認し、部署では多くの職員や患者さん、患者ご家族の皆さんにご参加いただき、参加者は 5日間で大学病院376名、東病院156名と盛況でした。

皆さんはクロスモニタリングという言葉をご存知ですか?チームが効果的に機能するために他のメンバーが声をかけて気付かせ、患者さんの安全を確保するためのトレーニングツールのひとつです。今年度、感染管理部門ではクロスモニタリングを行うことで手指衛生を向上させ、感染症を減らす活動を行っています。手指衛生を忘れている人がいたら躊躇せず、その場でやさしく助言しましょう。引き続き、感染予防にご協力をお願いいたします。



薬学部実習生も参加!



楽しく手洗い! 元リンクナースも大活躍



洗い残しゼロ!



新入職員も手指衛生



患者さんも一緒に手洗い



院内感染防止対策委員会でも実施しました!



東2階病棟のみなさん

文責: クオリティマネジメント課

院内コンサート開催報告

9月30日(土)昭和大学病院中央棟1階ロビー前にて、第81回院内コンサートを開催いたしました。'おもひでサンデー'は上智大学マンドリンクラブ卒業生で、マンドリンによる演奏と昭和歌謡を中心に、各医療施設などで患者さんと一緒の楽しい時間をお届けするボランティア活動をしています。優しいマンドリンの音色に乗せ、1曲目から患者さんの声を誘い、昭和世代にはたまらない楽しいひと時を過ごす事ができました。



~患者さんのコメント~

- ◆懐かしいマンドリンの音色に、喜寿のおばあちゃんの心が安らぎました。
- ◆ヴォーカルの声が素敵だった。昔の歌の良さを 知れてよかった。

文責:管理課

世界糖尿病デー イベント開催のお知らせ

私は糖尿病なの? ロコモって何かしら?

11月14日は『世界糖尿病デー』です。世界糖尿病デーは、世界的に拡大している糖尿病に対する注意喚起を目的に2006年に国連により設定されました。ちなみに11月14日は、1921年にインスリンを発見したバンティング博士の誕生日にあたります。

この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、160 カ国 10 億人以上が参加する世界でも有数な疾患啓発の日となっており、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。当日は世界各地の名所をブルーにライトアップする行事などが行われています。本年は当院でも生活習慣病と密接に関わる「ロコモティブ症候群」に焦点を当ててイベントをおこなう予定です。

下記日付にて血糖値や糖尿病の診断にも用いられるヘモグロビン A1c 値の測定を指先の数滴の血液を用いて、無料で行います。また、糖尿病に関する展示コーナーや、糖尿病専門医による相談コーナーも開設いたしますので、ぜひご参加ください。

日 時: 平成 29 年 11 月 9日 (木) 9:00~16:00

場 所:昭和大学病院附属東病院 正面玄関

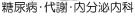
参加: どなたでもご参加可能です。

実施内容:

- ■血糖測定、HbA1c測定
- ■糖尿病についての勉強会 ①10時~ ②15時~
- ■あなたの口コモティブ度チェック

ご家族、ご友人を お連れしてお気軽 にご参加ください





診療科長 平野 勉

※11月6日(月)~10日(金)

東病院2階食堂で管理栄養士監修による健康食メニューの提供を行います(有料)

患者さんのご意見・要望

ご意見・要望	回答	回答 部署
・大学病院と東病院と予約票を まとめて一緒にすることはで きないでしょうか。・大学病院と東病院の再来受付 をまとめて一緒にすることは できないでしょうか?	ご不便おかけしても申し訳ございませんでした。 これまで、昭和大学病院と附属東病院は別々の医療機関であるため、それぞれ別に再来受付・次回予約をしておりました。 しかしながら、今度、平成 30 年1月に新システムを導入致します。 以降、昭和大学病院と附属東病院の再来受付・次回予約が1 枚の用紙に記載されるようになりますので、今しばらくお待ちいただけますと幸いです。	医療情報室
エレベーターが来るのが遅いです。改善をお願いします。	ご不便をおかけし申し訳ございません。 入院棟の3基のエレベーターは、「群管理」というシステムに基づいて相互運転をしております。この群管理システムでは、その時その時の各階からの呼び出し情報を基に最も効率よく3基を動かすように計算しています。そのため、最も近くに来ているエレベーターであっても、その階を通過することがあるためエレベーターの現在位置を示すパネルは設定しておりません。しかしながら、これらのシステムを導入してもご利用者をお待たせしてしまっていること申し訳ございません。建物の建ペい率の関係でこれ以上エレベーターを増やすことはできないため、今後も職員は階段を利用するよう励行し、患者さん・面会者の方が少しでも搭乗しやすいよう努めて参ります。また、入院棟のエレベーターは、特に昼食帯から午後の診療がある12:00~16:00台が一番混み合う傾向にありますので、この時間帯を避けるなど、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。	施設部



休診のお知らせ

平成29年11月15日(水)は、本学の創立記念日のため休診です。 あらかじめご了承下さい。



院内コンサートのお知らせ

【第82回院内コンサート】

日時: 平成29年11月25日(土)17:00~17:45

場所:大学病院中央棟1階ロビー

出演:昭和大学管弦楽団



編集後記

最近日本の糖尿病患者の数が 1000 万人を突破したことが、新聞などで大々的に報じられた。 その増加のスピードに驚かされるが、中国ではなんと 1 億人を超えているそうだ。糖尿病とは貧困の対極にあるような病気で、そちらに向かわないで豊かな生活を求めればそこに落とし穴のように現れる。11 月 14 日の世界糖尿病デイではそのような糖尿病の落とし穴に落ちないための知識を世界中で共有しようと呼びかける。当院でも国連旗の色であるブルーに病院をライトアップして糖尿病撲滅キャンペーンが行われる予定である。 平野 勉



昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・ 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、 質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス: tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。 病院広報委員会委員: 荒川 千春、飯田 真由、磯飛 雄一、稲垣 克記、大嶽 浩司、佐藤 久弥、白井 敦、 鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡(50 音順)

